



きよかわむら

# 社協だより

2016

7

No.179



## 高齢者とふれあおう

宮ヶ瀬小学校総合学習

宮ヶ瀬小学校4・5年生の今年の総合学習は、高齢者と関わることをテーマに学習が進められています。その一環として6月3日、デイサービス利用者との交流が行われました。児童は、交流するにあたり『利用者の皆さんに喜んでもらえること』について事前に調べたり、話し合ったりしました。「一緒に歌をうたう」「車椅子を押して散歩に行く」「昔遊びで子供の頃のことを思い出してもらう」などのたくさんのお話があがったので、今回の交流では、車椅子を押して図書館に本を借りに出掛けてもらいました。児童は「どれがいいですか」と少し照れながらやさしく声を掛け、丁寧に利用者に本を手渡していました。

### 7月号 おもな内容

- |                 |    |                 |    |
|-----------------|----|-----------------|----|
| ●ボランティアの扉 見守り活動 | 2P | ●みゆうじっくぼうるコンサート | 3P |
| ●思い出のランドセル      |    | ●身体障害者サロン活動で交流会 | 3P |
| ギフトキャンペーン       | 3P | ●社協からのお知らせ      | 4P |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。

# ボランティアの扉 見守り活動

我が国では、高齢化、核家族化が急速に進んだこと等によって、高齢者の一人暮らしが増加しています。独居の高齢者が増えることで、「近くに頼れる人がいない」等高齢者の生活への不安が多くあげられています。そのような中で、独居の高齢者を地域住民等が見守っている事業活動が各地で行われています。今回は、地域住民による見守り活動についてご紹介します。

## サロン活動

お茶のみをしておしゃべりをしたり、健康体操をして体づくりなどを行うサロン活動。参加者は独居の方でリピーターが多いため、欠席すると「あの人は今日バスで出掛けたよ」「先週入院したみたい」といった情報が民生委員や運営ボランティアに寄せられます。

村内では、柿ノ木平・坂尻地区、清水ヶ丘・金翅地区、舟沢地区で活動が行われています。



## 声掛け

自治会の有志が民生委員と協力し、独居高齢者のお宅を訪問し、安否を確認しています。体調が優れない、しつこい訪問販売が来て困った等の情報が寄せられると、地域包括支援センターへ連絡が入り、センターと連携した見守りが行われています。



## 青空マーケット

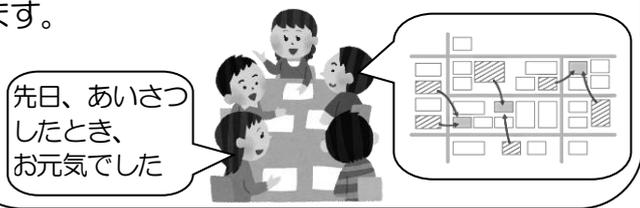
近所にスーパーやコンビニエンスストアがなく、買い物が不便な地域の中には、自治会が中心となって、生鮮食品やパン、日用雑貨等を近くの広場等で販売する青空マーケットを行っているところがあります。ボランティアや当事者同士がマーケットで顔を合わせ、おしゃべりすることで、自然な見守り活動に繋がっています。



## 見守りマップ

民生委員やボランティア等が住宅地図上に独居高齢者宅を記し、本人の最近の健康状態や地域の誰と交流関係にあるかを地図上に記入していきます。得られた情報は、必要に応じて行政や社協等関係機関へ報告されます。個人情報保護の観点から、多くのところが見守ってほしいと希望される方を対象に行われています。

村内では、清水ヶ丘地区で活動が行われています。



いかがでしたか。清川村社協では、地域での見守り活動を推進しています。興味・関心のある方は清川村社協までご連絡下さい。

## ランドセルに思いを込めて

～2人の村民がキャンペーンに連続参加～

6月4日(土)、公益財団法人ジョイセフ主催の「想い出のランドセルギフトキャンペーン」が横浜のKK貿易倉庫で行われ、村民2人がボランティアとして参加されました。このキャンペーンは、就学環境に恵まれないアフガニスタンの子どもたちに、全国の有志から寄せられた使用済等のランドセルを贈るという活動で、これまでに約16万個のランドセルがアフガニスタンの子ども達に届けられています。

この日は、送られてきたランドセルの開梱から検品、箱詰めまでの作業が行われました。村内から参加された林さんご夫妻は、ランドセルに文房具を入れる作業を担当。忙しい流れ作業の中、心を込めて鉛筆、ノート等をランドセルに入れました。林政光さんは「昨年に続き2回目の参加です。」

この時期に活動があると思い、社協だよりを確認していました。この活動は体力が要り大変ですが、来年も参加できればと思っています。と汗をぬぐっていました。



↑村民等から社協へ寄せられたランドセルを持って参加された林さんご夫妻

## 音楽の魅力を満喫

～せせらぎ館で

みゆうじっくぼるるコンサート～



障害のある人もない人も、大人も子どもも音楽のリズムに合わせて、身体を動かしたり、楽器を演奏したりして誰もが一緒に楽しんでくれる「みゆうじっくぼるる」コンサートが6月11日(土)、せせらぎ館で行われました。みゆうじっくぼるる・めいの主催

で今回が2回目。障害者施設の利用者を始め、子ども会、読み聞かせボランティアグループおはなし玉手箱、会場の参加者も打楽器を手に、演奏者と一体となって音楽を存分に楽しみました。

主催者の小林朱見さんは「今年は障害者以外の方にも出演していただくことができました。もっと大勢の方に音楽の魅力を伝えていきたいです」と話し、一番最初に「ドナウ川のさざなみ」を演奏した清川ホーム利用者の山中さんは、「とても楽しかった」と喜んでいました。

## エネルギーをもらいました

～身体障害者サロン活動で交流会～

↓ご自分の近況を語る石井さん(写真手前右)



村外の障害者との交流により、同じ立場だからこそ分かり合えることを共有してもらおうと、5月25日、宮ヶ瀬の水とエネルギー館でサロンが行われました。村からは、1人のみの参加でしたが、相模原市身体障害者連合会の会員さん4人と活発に意見交換をしました。

肢体不自由の障害を持つ連合会の女性会員さんは「60歳を過ぎてから体力が低下しているのを感じました。可能な限り現在の家に住み続けたいので、週2回プールに通って体力づくりに励んでいます」と現在の生活状況を報告されました。一方、視覚障害者の会員さんは「色々な方の支えによって日々生活しています。お陰様で、昨年は盲人卓球の全国大会で『金メダル』を取る事ができました」と力強く話されました。村から参加した視覚障害者の石井茂美さんは、「皆さんすぐくお元気でエネルギーをもらいました」と話していました。

## 社協の行う福祉サービスに対する苦情窓口

清川村社協が提供する福祉サービスの利用者の権利を擁護し、事業の迅速な改善を図るとともに、事業に対する社会的な信頼を向上させることを目的に、苦情受付窓口を設けております。利用者の立場に配慮した対応を推進するため、利用者から直接苦情の受付、苦情解決の場への立会いや助言・解決策の調整を行う苦情解決第三者委員を選任しております。清川村社協の苦情受付窓口と併せて第三者による苦情受付窓口をご紹介します。

### 【社協の苦情受付窓口】

苦情解決責任者 小島 祐行

苦情解決担当者 大橋 真二

#### 連絡先

〒243-0112 清川村煤ヶ谷2220-1

社会福祉法人清川村社会福祉協議会

電話 046-287-1118

FAX 046-287-2013

メール info@kiyokawa-shakyo.jp

受付時間 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

午前8時30分～午後5時15分

### 【第三者が受付ける苦情窓口】

#### 苦情解決第三者委員

第三者委員 原田 放子 氏

第三者委員 椎野 淳子 氏

#### 連絡先

〒243-0035 厚木市愛甲953-2

特定非営利活動法人あつぎ福祉ネットワーク

電話 046-247-7503

FAX 046-247-7508

メール a-net@y2.dion.ne.jp

受付時間 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

午前10時～午後5時

## 男の料理クラブ 生徒募集

男性が自らの「食」について興味を持ち、自分で作る楽しさとバランスのとれた食事の重要性を知ると共に、仲間作りやコミュニケーションが図れる場です。みなさんのお申し込みお待ちしております。

日時 7月26日（火）

午前9時30分～午後2時

※平成28年度は、7月を含め計5回の開催予定です。

対象 清川村在住の20歳以上の男性

定員 15名（定員になりしだい募集終了）

内容 調理、試食等（調理は、講師にデモンストレーションを見せて頂いた後、班ごとに調理を行います。）

会費 毎回 1,000円

場所 清川村保健福祉センターやまびこ館  
2階 栄養学習室・栄養指導室

講師 清川村食生活改善推進団体もみじ会



昨年度は、以下の料理を作りました。

- ・ 鮭と野菜の南蛮漬け
- ・ アジフライ
- ・ かぼちゃのサラダ

#### お問い合わせ先

長谷川達雄

電話番号 046-288-1364

## 回収にご協力ありがとうございます

平成28年5月～平成28年6月

○ペットボトルキャップ	12件
○古切手	7件
○使用済みプリペイドカード	2件

#### 編集・発行

社会福祉法人

### 清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

はあじ  
うおーむ  
1ページで宮ヶ瀬小学校  
4・5年生の総合学習の様  
子を紹介しました。その  
後児童たちは、「お年寄りが  
喜んでくれることは何か」  
を再度考え、デイサービス  
に2回来てくれました。自  
分たちで作った塗り絵や昔  
遊びを行うなど色々工夫  
を凝らしていました。テ  
マの「高齢者と関わるこ  
の中で、相手を思い自分  
たちに何ができるのかを考  
えることができました。